

## 高崎市立高崎経済大学附属高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

| 評価対象                             | 羅 針 盤   |   | 達成度 |   |    | 改善状況のまとめ  | 学校関係者評価   | 次年度の課題   |
|----------------------------------|---|---|-----|---|----|---|---|--|
|                                  | 評価項目  | 具体的数値項目   | ①   | ② | 総合 |   |   |  |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。             | 1 大学、NPO法人、企業等外部との連携により、充実した教育活動をしようとして努めていますか。 | ① 外部機関との連携により充実した教育活動をしていると感じる生徒が80%以上である。                  | A   | B | B  | ①大学をはじめNPO法人、企業等の外部機関と連携することができた。外部機関と連携して教育活動を行うことは本校の特色の1つである。今年度は群馬大学数理データ科学教育研究センター中村賢治先生と連携し、データサイエンスやAIについて学ぶ機会を得た。<br>②新型コロナウイルスの影響で海外研修が行えないなかで、オンラインを使った海外の高校との交流を充実させることができた。<br>③総合的な探究の時間では、キャリアについて考える探究活動を行った。進路指導部を中心に自分の将来について考える機会を設けている。教科教育、部活動など様々な場面で実社会で役立つ能力の伸長を図っている。 | ①学校評議員会では、地域の資源の活用を推進することが提案された。たとえば、本校がある浜川町はそばの栽培、加工、販売が行われており、農業体験や地域の特性を生かした探究学習なども実施可能である。多様な視点をもって外部機関との連携を推進したい。<br>②来年度から海外研修を実施することも計画しているが、円安や物価上昇の影響を十分に考慮する必要があるとの指摘を受けた。<br>③高校3年間で社会に出て役立つ能力・態度を身に付けてほしい。様々な機会を見て生徒に実社会で役立つ能力を身に付けさせてほしい。 | ①下半期に数値が下がった原因としては、生徒や保護者が外部機関と連携していることを実感する機会が少ないことであると考える。連携していることをClassi、Webサイト、通信を用いて周知することで数値を改善したい。連携事業の質を絶えず見直し、本質的な改善も図りたい。<br>②米国研修等の海外研修再開を目指す。新型コロナウイルス以外にも、円安や物価上昇などの課題を解決したい。<br>③総合的な探究の時間において、課題を見つける能力や解決する能力の伸長を図る機会を確保されている。生徒が成長の実感を持てるように工夫していきたい。 |
|                                  | 2 国際交流の機会をつくり、国際理解に努めていますか。                     | ② ZOOMを用いた海外との交流会やエンパワーメントプログラムなど、国際理解の場があると感じる生徒が80%以上である。 | A   | B | B  |   |   |  |
|                                  | 3 キャリア教育の充実に努めていますか。                            | ③ 社会に出て役立つ能力・態度が身に付いたと感じている生徒が80%以上である。                     | A   | B | B  |   |   |  |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。  | 4 工夫して分かりやすい授業を行っていますか。                         | ④ 授業に対する、生徒の評価を年2回実施し、授業改善に生かしている。                          | A   | B | B  | ④2回の授業アンケートを実施し、生徒の意見を参考に授業改善に取り組みするようにした。また、他教員の授業を参観し意見交換を行う機会を設け、授業改善に努めた。<br>⑤授業だけでなく、総合的な探究の時間やオンライン活動、学校説明会等で、生徒の発表機会を設けた。<br>⑥生徒の多くが主体的・協働的な学習に取り組んでいると感じており、多くの授業でICTを活用した授業が展開されている。   | ④2回の授業アンケートや相互の授業参観などにより授業改善を図っている。今後は、お互いの授業を参観する機会をより多く設け、更なる授業改善を図る。<br>⑤授業内での発表だけでなく、学校説明会やキャリア活動成果発表会など、大きな舞台上で生徒が発表する機会が設けられたことは生徒の成長に繋がった。<br>⑥学習支援アプリ等を活用し、双方向授業やグループワークが行われており、生徒が主体的に授業に取り組める工夫がなされている。                                       | ④より高い思考力・判断力・表現力を身に付けさせられるように、さらなる指導力の向上を図る必要がある。<br>⑤今後も、多くの生徒に発表の機会を設定できるよう工夫していくとともに、きめ細かい指導を通して発表内容の充実を図りたい。<br>⑥ICT活用法をさらに深めるとともに、生徒の主体的な活動や協働的な学びの機会を計画的に設定し、より深い学びにつなげる年間指導計画の作成に努める。   |
|                                  | 5 発表する場面で、表現力の育成に努めていますか。                       | ⑤ 生徒の80%以上が自分の意見や考えを発表する機会があると感じている。                        | A   | A | A  |   |   |  |
|                                  | 6 主体的・協働的な学習を取り入れていますか。                         | ⑥ グループ学習やペア学習を取り入れている授業が80%以上である。                           | A   | A | A  |   |   |  |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 7 規則正しい生活習慣を身に付けさせていますか。                        | ⑦ 安易な欠席・遅刻・早退をさせない指導を徹底し、学年平均の遅刻者数(人/日)を3以下にする。             | A   | C | B  | ⑦上半期は十分に目標を達成した。下半期は全ての学年で遅刻者が増加し、目標を達成できなかった。体調不良を理由とした遅刻が最多であった。<br>⑧昨年度よりも交通事故件数が減少した。登校時の学校周辺では自転車用ヘルメット着用率はほぼ100%であるが、下校時や学校から離れた場所での着用状況に課題がある。<br>⑨1月末時点でのいじめ発生件数は1件であった。全生徒対象のアンケートや個人面談を実施した他、職員研修や職員間の情報共有の機会を充実させた。  | ⑦新型コロナウイルスやインフルエンザ等の予防を徹底し、欠席・遅刻・早退を減らす。学校だけでは、生徒本人や家庭との連携が求められる。<br>⑧高校生の自転車運転マナーは、常に課題とされる。交通規則の順守や交通安全に対する活動は、改善が見られたとしても不測の取り組みが求められる。<br>⑨アンケートやきめ細やかな面談により、いじめ防止の取り組みは評価できる。それらの活動により、学校がいじめ防止に誠実に取り組んでいることを発信することが求められる。                         | ⑦感染症に対する各種ガイドラインに基づいた感染予防策を徹底するとともに、家庭との情報共有を充実させ、体調不良者を減らし、遅刻等の状況を改善する。<br>⑧道路交通法や群馬県条例等の法令に基づき、交通安全や自転車用ヘルメットの着用を保護者だけでなく、他校と連携して行う。<br>⑨いじめ防止に関する学校の取り組みを、生徒や保護者に発信することで、教職員と生徒、保護者それぞれがいじめ防止に対する意識や感度を高める。   |
|                                  | 8 交通規則を遵守し、交通事故を起こさないようにさせていますか。                | ⑧ 重大な交通事故を未然に防ぐ。警察署等と連携し交通安全運動を年3回以上実施し、ヘルメット着用率100%を目指す。   | B   | B | B  |   |   |  |
|                                  | 9 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。            | ⑨ いじめ発生件数0を目指した教育活動に取り組み、万が一いじめが発生した場合には組織的にその解決を図る。        | A   | B | A  |   |   |  |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。  | 10 生徒の進路意識の高揚に努めていますか。                          | ⑩ 大学見学や職業人講話、進路講演会等の進路行事に積極的に参加したと自己評価できる生徒が80%以上である。       | A   | A | A  | ⑩学年の生徒全体に向けた指導だけでなく、生徒の特徴に合わせて個別に指導、支援していく必要がある。進路講演会も大事だが、個別の面談で生徒の学習意欲を高める必要がある。面談をするタイミングも見逃さない。<br>⑪学習時間を全学年で、毎日入力させることで、生徒の自己理解を深める。早期に自分の進路について考えさせる機会を設ける。   | ⑩各学年の進路行事の山場をつくり、それに向けた事前、事後指導を徹底する。進路希望別に生徒をグルーピングし、全体だけではなく個別にも対応する。<br>⑪学力を向上させるため、家庭での学習時間を増やす。そのためには授業の充実や課題の内容などを工夫する必要がある。学習時間は毎日全員に記入させる。   |  |
|                                  | 11 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。         | ⑪ 自分の適性を理解し、進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が、80%以上である。               | A   | A | A  |   |   |  |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。             | 12 保護者や地域住民に向けて情報を積極的に発信していますか。                 | ⑫ 保護者の80%以上が学校は積極的に情報を発信していると感じている。                         | A   | A | A  | ⑫ClassiやWebページを活用し生徒・保護者や中学生に迅速かつ丁寧な情報発信を行うことができた。また、外部報道機関へ積極的に情報提供し、地域住民への広報活動の充実を図った。<br>⑬コロナ禍の中、参加者数の上限を設けたり授業公開の日程に幅をもたせたりするなどの対策を講じた上で実施することができた。<br>⑭父母の会と連携したマナーアップ運動や通学路のハットルで、自転車ヘルメット着用や交通マナーの向上について指導を行い、地域住民からの信頼が得られる生徒の育成を図った。   | ⑫創立30周年に向けて、多くの卒業生の意見を集め、それを学校運営にも反映していく。卒業生のネットワーク作りや情報発信も活発に行い学校のWebページを頻繁に更新する。<br>⑬社会に開かれた教育課程が求められる中、授業公開や学校説明会の実施により、学校の魅力をより多くの人に発信することができた。<br>⑭地域住民への情報の伝達が難しい。地域の行事に部活動が参加する、または農業体験については法人化されているので興味ある生徒がいれば実施できるかもしれない。                     | ⑫Webページを刷新することで部活動等の情報発信、卒業生のネットワーク作り等の充実を図る。また、Webによる学校案内によって本校の情報をより広く発信する。<br>⑬授業公開や学校説明会等を通して、より多くの魅力を伝えられるように、今後も内容を充実させていく必要がある。<br>⑭自転車運転のマナー向上や通学路ハットル状況をClassiやWebページで報告し、父母の会とともにマナーアップ運動を実施するなど粘り強くモデルの向上を訴えていく。  |
|                                  | 13 授業公開、学校公開に努めていますか。                           | ⑬ 本校保護者だけでなく中学生やその保護者対象の授業公開等で合計二千人以上の参加を得る。                | B   | B | B  |   |   |  |
|                                  | 14 保護者や地域住民から信頼される高経附の生徒を目指していますか。              | ⑭ 地域住民や生徒の保護者の80%以上が、高経附の生徒や本校の教育活動を評価している。                 | A   | A | A  |   |   |  |
| VI 教育のデジタル化に努めていますか。             | 15 ICTを活用した指導を行っていますか。                          | ⑮ 生徒の80%以上が、ICTを活用した学習を行うことで理解が深まったと感じている。                  | B   | B | B  | ⑮導入当初と比べて、iPadの使用が生徒・教員ともに十分に浸透し、科目の特性や学習内容に合わせてより適切に活用されるようになった。<br>⑯Classiによる情報発信が雑然としていたが状況に応じて紙媒体を用いたりまとめてから情報発信したりすることで改善された。  | ⑮引き続き、効果的なiPad等の活用方法の検討やそれに関する情報共有を、進路指導部等と協力して行っていく。<br>⑯Classiによる情報発信の課題を各分掌と共有し、ICTによる情報発信がより効果を発揮するよう、システムを構築していく。  |  |
|                                  | 16 ICTを活用した業務改善を行っていますか。                        | ⑯ 保護者の80%以上がICTを活用することで学校からの通知が確認しやすくなったと感じている。             | A   | B | B  |   |   |  |
| ※ 安心安全な学校づくり                     | 17 生徒主体で「いじめ」のない学校づくりを推進していますか。                 | ⑰ 生徒の80%以上が、生徒主体で「いじめ」のない学校づくりがされていると感じている。                 | A   | A | A  | ⑰学級での話し合い活動に加え、生徒会本部役員を中心に外部と連携した活動を実施した。特別な取り組みだけではなく、日常の学校生活においても、いじめ防止意識を高めていく。<br>⑱現状の避難経路を検討し混雑や混乱が最小限に抑えられるよう再設定した。コロナ禍で大人数の講習が難しい中、オンラインで救急救命の講演会を実施できた。<br>⑲校内の施設の不備による事故は0件である。ただし校舎、体育館等の老朽化が進んでいるため改善が望まれる。  | ⑰いじめ防止や早期発見に対する取り組みに、肯定的ではない回答が一定数ある。いじめ防止や発見に対する取り組みを、生徒や保護者に見える形で充実させる必要がある。<br>⑱防災訓練や救急救命法などの訓練をできるだけ実際の状況を作り出し訓練する。<br>⑲節電とのバランスを配慮し、生徒が生活しやすい、照明などの機能を改善する。  | ⑰生徒が描いた「いじめ防止ポスター」を校内に掲示するなど、目に見える形でいじめ防止活動充実させ、いじめの予防や防止に対する生徒の意識を高める。<br>⑱救急救命士を講師を招き心肺蘇生法などの講習を実施したい。<br>⑲学校施設の老朽化に伴う危険箇所の正確な把握に努め、生徒が安全安心に活動できる環境整備を進める。体育館床の老朽化による事故発生危険性が認められるため、早急にその修繕を実現したい。  |
|                                  | 18 防災対策を職員・生徒に徹底していますか。                         | ⑱ 大地震や火災が発生した際に、全ての職員・生徒が適切な対応をとることができる。                    | A   | A | A  |   |   |  |
|                                  | 19 校内の施設の安全点検に努めていますか。                          | ⑲ 校内施設の不備による事故の発生は0件とする。                                    | A   | B | B  |   |   |  |